

## 平成 27 年度第 1 回運営幹事会議事録

作井技術委員会 事務局

開催日時：平成 27 年 5 月 18 日（月）15:30~17:30

開催場所：石油資源開発㈱19 階 1906 会議室

出席者：武村、戸田、日野、池田、浦野、田村、尾上、福嶋、菅野（代理）、長縄、佐藤、木下（代理）、片岡（13 名）

欠席者：古谷、前田

### 議題 1：分科会活動報告

大水深技術分科会、HP 委員会ともに報告事項なし

### 議題 2：H27 年度活動費予算案

（添付資料 1）

### 議題 3：理事会報告（第 80 期第 1 回）

会員の増減、平成 26 年度収支決算と平成 27 年度一般会計予算案の承認、第 59 回石油技術協会賞選考結果、協会誌印刷費削減案に関する検討状況について。

### 議題 4：H27 年度 春季講演会準備状況

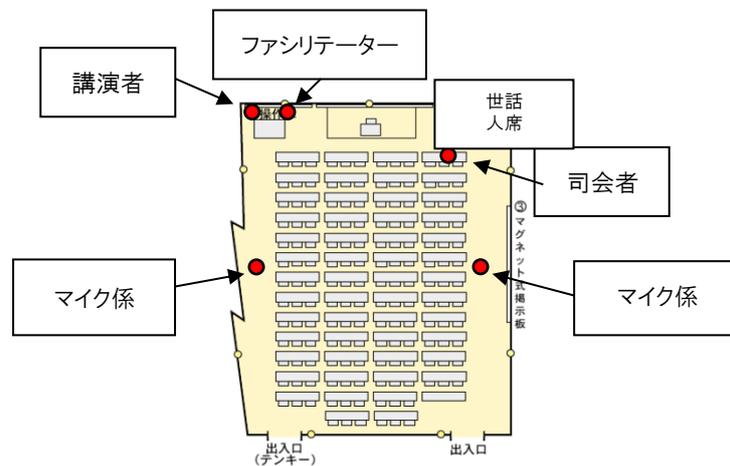
- 1) シンポジウムおよび個人講演の司会者、ファシリテーターの決定 （添付資料 2）
- ファシリテーターは、講演者と同じ会社あるいは当該プロジェクトのパートナー会社の人間（トラブル～対策の経緯を良く理解していて、ポイントを押さえて討議をリードできる）と別会社の人間（異なる視点から切り込むことで討議の活性化を期待）で構成する。運営幹事以外からもファシリテーターを選定する。
  - シンポジウムの司会者は、各講演運営幹事から 2 名とし講演者と同じ会社か別会社かにはこだわらない。個人講演の司会者は、講演者と別会社の人間とする。
  - ファシリテーター/司会者への事前資料の送付、ファシリテーター/司会者からの質問や追加資料請求依頼は事務局が窓口となって処理する。講演要旨および提出済み関連資料（直ちに）、発表資料（ドラフト可、受領次第速やかに）を事務局から送付する。
  - 世話人は名札を付け、会場の全員に世話人であることが分かるようにする。
  - シンポジウム午前の部では、出入口に常時世話人を配置し来場者を年代別のエリアへ誘導する。
  - シンポジウム午前の部の入社 9 年目までのエリアには、少人数討論を活性化すべく運営幹事の会社からの若手をまんべんなく配置する。
  - 学生・異業種グループの少人数意見交換は、世話人が付いて臨機応変にサポートする。
  - シンポジウムの実施方法に関する感想を聞くため、感想を記載する用紙を用意する。
  - 全体での意見交換の際、ホワイトボードの役目をするソフトウェアを活用し、図示し

た内容を会場のスクリーンに映し出せるようにする。

- 個人講演の休憩中に行う質疑応答には司会者も同伴し、質問者 1 人が長々と話を続けないようにコントロールする。

## 2) マイクの配置（卓上マイク 1 本、ワイヤレスマイク 3 本）

- ・ 講演者とファシリテーターは卓上マイクを使用する。
- ・ 司会者用にワイヤレスマイク 1 本を前方に配置する。また前方の人が話す際は、このマイクを使用する。
- ・ 残り 2 本は会場の左右に分けてマイク係の若手社員を配置する。（質疑応答、全体での意見交換）
- ・ 質疑応答中および全体での意見交換の際の人員配置（下図参照）。



## 3) 学生優秀発表賞の決定方法、協会誌への投稿依頼手順

- 平成 27 年度の学生発表は 1 件のみ（石油技術協会に確認済み）。
- 評価は去年と同じ方法で行う。

## 4) シンポジウム講演終了後のレセプション

- 事務局はレセプションの参加の可否を作井技術委員に問い合わせ、大まか参加者数を把握し、料理の内容を決定する。（料理は少な目で十分）
- 会費は一般 2000 円、学生 500 円とする。（おつりの準備）
- 時間は 17:00～18:30 とする。
- 受付を置き、領収証を発行し、レセプション参加者数をチェックする。

受付の混雑緩和のため、世話人の会社から複数の参加者がある場合は、会費の事前まとめ払いを受け付ける。その場合、入場の際には領収証を提示してもらう

## 5) 講演会当日の事務局および司会者の読み原稿（案）のチェック（添付資料 3）

- 指摘された点を修正。

## 議題 5：その他

### 1) 懇親会の領収書

- 石油技術協会 事務局が所有している石油技術協会委員会委員長印を押印した領収書を準備しておく。今後、委員から領収書を求められた場合は、押印のある領収書を渡す。